

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		1	女性のさらなる活躍促進				担当所属		市民協働課		
施策		(1)	各種審議会等における女性参画の促進								
取組		1	各種審議会等における女性委員の増加に向けた取組								
P	取組内容	関係各課に調査・ヒアリングを実施し、各種審議会等における女性の登用促進を働きかけることで、方針・政策決定の場への女性の意見の反映を進めます。									
	指標	関係各課へのヒアリング実施回数					(R4基準実績)	1回	方向性	維持・継続	
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10			
	指標実績	指標変更のため数値なし	1回	1回							
	活動実績	年2回審議会等の女性委員調査を実施。 次年度改選予定で目標値に達していない審議会等の所管課(6課)へヒアリングを実施し、女性委員の登用促進をした。 ①法律・条例により設置される審議会等の女性委員の割合:30.2%(女性委員192人/委員総数635人) ②すべての審議会等の女性委員の割合:32.7%(女性委員369人/委員総数1,129人)									
	(参考)成果指標 法律・条例により設置される審議会等の女性委員の割合 (令和4年:30.8%)	32.0%	30.0%								
C	R7年度	活動計画	年2回審議会等の女性委員調査を実施し、所管課が女性登用促進の意識を高めるよう、調査時に促す。 次年度に改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課へヒアリングを実施し、女性委員の登用を促す。 企業や団体への推薦依頼文に記載するための、女性登用促進依頼の例文を各課に展開する。								
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった					(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	あて職や公募による市民が男性しかいないなどの理由により、女性の登用が減少する可能性がある。								
A	次年度の活動計画		年2回審議会等の女性委員調査を実施し、所管課が女性登用促進の意識を高めるよう、調査時に促す。 次年度に改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課へヒアリングを実施し、女性委員の登用を促す。 企業や団体への推薦依頼文に記載するための、女性登用促進依頼の例文を各課に展開する。								

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		1	女性のさらなる活躍促進				担当所属	市民協働課		
施策		(1)	各種審議会等における女性参画の促進							
取組		2	人材リスト等の整備							
P	取組内容	人材育成講座修了生や地域で活躍する人を人材リストへ登載することで、多様な人材が審議会等に参加できる環境を整備します。								
	指標	市民参加パートナーバンクの女性登録者数				(基準) R4実績	112人	方向性	増加	
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	指標変更のため 数値なし	134人	136人						
	活動実績	エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジの修了生へ人材リストへの登載依頼し、審議会等への登用をPRした。								
C	R7年度	活動計画	エンパワーメント講座修了生や地域で活躍する人を人材リストへ登載し、審議会等への登用をPRする。							
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	エンパワーメント講座等の修了生のうちパートナーバンクへ登録していただける人が少ない。パートナーバンクの制度について分かりやすい説明が必要である。							
A	次年度の活動計画		エンパワーメント講座等の修了生や地域で活躍する人を人材リストへ登載し、審議会等への登用をPRする。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		1	女性のさらなる活躍促進				担当所属	市民協働課	
施策		(2)	女性の人材育成の活性化						
取組		3	人材育成のための講座等の開催						
P	取組内容	人材育成講座の開催を通じて、方針・政策決定の場に参画できる女性人材を計画的かつ継続的に育成します。							
	指標	人材育成講座の受講者数(累計)				(基準) R4実績	419人	方向性	増加
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	432人	450人	464人					
	活動実績	14名が受講。 全6回実施／名古屋学院大学教授 安藤りか氏 ①人生100年時代の女性のキャリア～女性の今を知ろう～ ②「キャリアの棚卸し」で人生総点検～私の過去を知ろう～ ③心理テストとコミュニケーションで深める自己理解～私の今を知ろう～ ④これならできる！最初の一歩の踏み出し方～講座修了生の体験談を聞いてみよう～ ⑤私ならではのキャリアビジョン～私の未来を描こう～ ⑥宣言！私のアクションプラン～前に向かって一歩踏み出そう 講座修了生にセミナー開催や男女共同参画審議会市民公募を案内した。							
C	R7年度	活動計画	修了生と協働して企画運営し、満足度の高い講座を開催する。 受講後のフォローアップのため研修やセミナーの案内を継続して行う。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった					
		課題等	修了生と協働して企画運営し、エンパワーメントの効果を感じてもらい、あるいは市政に参加してもらえるように促す必要がある。						
A	次年度の活動計画	修了生と協働して企画運営し、満足度の高い講座を開催する。 受講後のフォローアップのため研修やセミナーの案内を継続して行う。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		1	女性のさらなる活躍促進				担当所属	市民協働課		
施策		(2)	女性の人材育成の活性化							
取組		4	女性の人材育成のための研修・講座への派遣							
P	取組内容	愛知県等が開催する研修会や講座へ市民を派遣し、女性リーダーの育成を進めます。								
	指標	研修会派遣者数(累計)				(基準) R4実績	44人	方向性	増加	
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	48人	50人	53人						
	活動実績	・日本女性会議2025榎原に公募市民1人、さんかく21・安城から1人派遣した。 ・地域における男女共同参画推進リーダー研修へ1人派遣した。(独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)主催オンライン研修)								
C	R7年度	活動計画	県主催の男女共同参画人材育成講座等へ市民を派遣し、受講者に活動の場を案内する。							
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	受講生が男女共同参画推進活動を継続できるよう、活動の場を案内する必要がある。							
A	次年度の活動計画		県主催の男女共同参画人材育成講座等へ市民を派遣し、受講者に活動の場を案内する。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		1	女性のさらなる活躍促進				担当所属	生涯学習課	
施策		(2)	女性の人材育成の活性化						
取組		5	女性指導者の活躍する場の提供						
P	取組内容	自らの知識や経験をもとに活躍する女性に、公民館講座の講師として起用することで、実践を通じた学びの機会を提供します。							
	指標	公民館講座等で女性の新規講師を登用した数(累計)				(基準) R4実績	32人	方向性	増加
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため 数値なし	50人	81人					
	活動実績	各地区公民館で様々な分野の新規講師を公民館講座に登用することができた。(R7実績:31人)							
C	R7年度	活動計画	公民館講座等で女性講師が活躍できるよう積極的に登用をしていく。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった			(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	新規の人材発掘ができるよう継続的に情報収集を行う必要がある。						
A	次年度の活動計画		公民館講座等で女性講師が活躍できるよう積極的に登用をしていく。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		1	女性のさらなる活躍促進				担当所属	生涯学習課	
施策		(2)	女性の人材育成の活性化						
取組		6	女性のライフプランニング支援						
P	取組内容	社会情勢に即した女性向けライフプランニング講座を開講し、社会参画等を目指す女性をはじめ、様々な女性が充実した生活を送るための支援を行います。							
	指標	女性が充実した生活を送るための講座実施数				(基準) R4実績	8講座	方向性	維持・継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	12講座	24講座	23講座					
	活動実績		セルフケア講座や女性のお悩み解消講座など女性が充実した生活を送るための多種多様な講座を開講し、好評であった。						
C	R7年度	活動計画	女性のライフプランニングを支援する講座を継続して実施する。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった			(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	女性の社会参画が多様化しているため、ニーズに応じた講座企画を進める必要がある。						
A	次年度の活動計画		今後も女性のライフプランニングを支援する講座を継続して実施する。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		1	女性のさらなる活躍促進				担当所属	商工課	
施策		(3)	職場における女性活躍・男女共同参画の推進						
取組		7	職場での女性活躍、男女共同参画の推進に向けた啓発・情報提供						
P	取組内容	市内の事業所において女性が活躍しやすい環境となるよう、県・関係機関が開催する講座等の情報提供、県との共同による講座等の開催、女性管理職の拡大や女性の能力の活用に関する啓発を行います。							
	指標	情報の発信回数				(基準) R4実績	18回	方向性	維持・継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため 数値なし	19回	19回					
	活動実績		・チラシ等による周知を行い、女性活躍、男女共同参画の推進に向けた啓発・情報提供を行った。						
C	R7年度	活動計画	・県と連携した女性活躍や男女共同参画につながるセミナーの開催。 ・チラシや冊子による情報提供。 ・チラシ配布による制度の啓発。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった			(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	女性が活躍している企業の好取組事例を新たにつかみ、横展開していくことの難しさ。						
A	次年度の活動計画		・県と連携した女性活躍や男女共同参画につながるセミナーの開催。 ・チラシや冊子による情報提供。 ・チラシ配布による制度の啓発。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		1	女性のさらなる活躍促進				担当所属	商工課	
施策		(3)	職場における女性活躍・男女共同参画の推進						
取組		8	女性の就労支援・再就職支援等の実施						
P	取組内容	出産・育児・介護などで離職した女性の再就職を支援するための情報の発信を行うとともに、セミナーの開催及び起業セミナーの情報発信を行います。							
	指標	再就職・起業セミナー参加者数(累計)				(基準) R4実績	39人	方向性	増加
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため 数値なし	106人	150人					
	活動実績		・再就職を検討している未就職の女性を対象に2日間にわたり、女性の再就職準備セミナーを開催した。(19人) ・起業セミナーを開催し、受講生は起業に必要な知識、ノウハウを習得し、ビジネスプランをまとめた。(12人) ・安城ビジネスコンシェルジュにおいて女性創業セミナーを開催した。(13人)						
C	R7年度	活動計画	実施内容を検討し、ニーズに合ったセミナーの開催。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった					
		課題等	再就職準備セミナーについて、昨年度より内容を変更したが参加者の年齢層が想定よりも高かったので、引き続き実施内容の見直しが必要。						
A	次年度の活動計画	実施内容を再検討し、ニーズに合ったセミナーの開催。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		1	女性のさらなる活躍促進				担当所属	農務課	
施策		(3)	職場における女性活躍・男女共同参画の推進						
取組		9	女性農業者への支援の実施						
P	取組内容	女性農業者を対象に学びや情報交換などの交流の場を提供し、家族経営協定の締結等に関する啓発を行います。							
	指標	家族経営協定の締結農家戸数(累計)				(基準) R4実績	73戸	方向性	増加
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため 数値なし	74戸	76戸					
	活動実績	5月に女性農業者のつどいを開催し、25名に参加していただいた。 女性農業者が属する各グループの活動や取組みの紹介を行い、情報共有を行った。 また、幅広い年齢層の女性農業者に参加していただきやすいよう内容を検討し、カラーコーディネート講座の開催を行った。 家族経営協定の新規締結により締結農家戸数が増加した。							
C	R7年度	活動計画	女性農業者のつどいを開催し、女性農業者間の情報共有を行う。 例年の女性農業者のつどいにおいて、幅広い年齢層の女性農業者が参加できるように工夫する。また、県農業改良普及課と協力して、家族経営協定の締結農家戸数の増加を図る。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった					
		課題等	女性農業者のつどいの講座の内容を工夫したものの、若年層の女性農業者の参加が少なかったため、引き続き内容を工夫する必要がある。						
A	次年度の活動計画	女性農業者のつどいを開催し、女性農業者間の情報共有を行う。 例年の女性農業者のつどいにおいて、幅広い年齢層の女性農業者が参加できるように工夫する。また、県農業改良普及課と協力して、家族経営協定の締結農家戸数の増加を図る。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		1	女性のさらなる活躍促進				担当所属	人事課		
施策		(3)	職場における女性活躍・男女共同参画の推進							
取組		10	安城市における「特定事業主行動計画」の推進							
P	取組内容	①女性活躍の推進 女性職員の多様なポストへの積極的な配置、管理職員への登用、外部研修等への派遣、活躍を推進するための研修等の開催を通じ、女性の個性や能力が十分に発揮され、多様な価値観を持った組織の構築を目指します。								
	指標	①女性職員の活躍や女性リーダーの育成を目的とした外部研修への派遣				(基準) R4実績	2回	方向性	維持・継続	
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	指標変更のため数値なし	3回	2回						
	活動実績	・愛知県「市町村職員向け女性の活躍セミナー(10/29)」受講 ・愛知縣市町村振興協会研修センター「監理職セミナー(11/30)」受講								
	【参考】成果指標 市の管理的地位にある職員(課長補佐級以上)に占める女性職員の割合(令和4年 10.1%)	16.3%	17.1%							
C	R7年度	活動計画	ワークライフバランスに配慮をしつつ、管理職や係長級への積極的な登用を維持する。							
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	成果指標としている、市の管理的地位にある職員(課長補佐級以上)に占める女性職員の割合は目標値の17%を達成したが、さらなる推進に向けた取組が引き続き必要である。							
A	次年度の活動計画		引き続き、ワークライフバランスに配慮をしつつ、管理職や係長級への積極的な登用を維持する。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		1	女性のさらなる活躍促進				担当所属	人事課	
施策		(3)	職場における女性活躍・男女共同参画の推進						
取組		10	安城市における「特定事業主行動計画」の推進						
P	取組内容	②男性職員の育児休業等の取得促進 配偶者の妊娠等の申出があった男性職員に対し、活用できる休暇・休業制度等の周知や所属長を通じたその取得予定のヒアリングを行い、男性の家事・育児への参画を促進します。							
	指標	②新たに子が生まれすべての男性職員に対する、取得できる休暇・休業制度等の周知及び面談の実施				(R4実績)	実施	方向性	維持・継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	指標実績	指標変更のため数値なし	実施	実施					
	活動実績	新たに子が生まれる職員に対して、取得できる休暇・休業制度等をグループウェアへの掲載や人事課窓口での案内により周知し、また、その取得予定等について所属長との面談を実施した。 【参考】 令和7年度に子が生まれた男性職員の育児休業又は配偶者の妊娠・出産に係る特別休暇の取得割合 100%							
C	R7年度	活動計画	仕事と育児の両立支援制度の周知と面談を通じた意向確認を行うことで、より一層取得しやすい職場環境を整備していく。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった					
		課題等	子が生まれた男性職員の育児休業又は配偶者の妊娠・出産に係る特別休暇の取得割合は100%であったが、これを継続するための取組が引き続き必要である。						
A	次年度の活動計画	引き続き、仕事と育児の両立支援制度の周知と面談を通じた意向確認を行うことで、より一層取得しやすい職場環境を整備していく。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		1	女性のさらなる活躍促進				担当所属	保育課	
施策		(4)	子育て支援サービスの充実						
取組		11	一時預かり等、子育て家庭のニーズに応じたサービスの拡充						
P	取組内容	一時保育等のサービスを利用しやすくすることで、育児負担の解消や就労等の社会復帰がしやすい環境づくりを促進します。							
	指標	一時保育の1日当たりの定員(全施設合計)				(基準) R4実績	110人	方向性	拡充
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため 数値なし	120人	120人					
	活動実績	市内12の保育園や認定こども園で一時保育を実施した。令和7年度は12園合わせて1,120人が利用登録し、延べ11,582人が利用した。							
C	R7年度	活動計画	一時保育等の子育て支援サービスの拡充を図る。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった					
		課題等	保護者のニーズを把握し、ニーズに沿う保育を行う必要がある。						
A	次年度の活動計画		引き続き、一時保育等の子育て支援サービスの充実を図る。併せて、保育士不足のため、人材確保の方法を検討する。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		2	家庭・地域における男女共同参画の推進				担当所属		市民協働課			
施策		(1)	家庭における家事・育児等の分かち合い促進									
取組		12	家事・育児等のシェアに関する啓発の実施									
P	取組内容	男女がともに仕事と家事・育児等の両立に配慮した働き方や暮らし方ができるよう、家事・育児等をともに分かち合うことの重要性に関する啓発等を行います。										
	指標	ワーク・ライフ・バランスについての啓発回数					(基準) R4実績	2回	方向性	維持・継続		
D	年度	R5	R6		R7	R8	R9		R10			
	指標実績	2回	4回		4回							
	活動実績	・男女共同参画週間イベントで、男性の家庭参画やワーク・ライフ・バランスをテーマに講演会を開催した。 ・新規採用職員研修会の資料にてワーク・ライフ・バランスを啓発した。 ・ユースカレッジの資料にてワーク・ライフ・バランスを啓発した。 ・情報誌で女性消防団員にインタビューし、活動と育児、家庭のバランスについての記事を掲載した。										
C	R7年度	活動計画	講義内容や情報誌の掲載内容の充実を図り、若い世代及び企業へワーク・ライフ・バランスの啓発を実施する。									
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった								
		課題等	企業が興味・関心を持ってもらえるような内容の検討が必要である。									
A	次年度の活動計画		引き続き講義内容や情報誌の掲載内容の充実を図り、若い世代及び企業へワーク・ライフ・バランスの啓発を実施する。									

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		2	家庭・地域における男女共同参画の推進				担当所属	高齢福祉課		
施策		(1)	家庭における家事・育児等の分かち合い促進							
取組		13	男性の家庭への参画に向けた学習機会の提供							
P	取組内容	男性高齢者向けの栄養講座を開催し、介護予防の視点も含めた家庭参画を促進します。								
	指標	男性高齢者向けの栄養講座の参加者数(累計)				(基準) R4実績	46人	方向性	増加	
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	指標変更のため 数値なし	163人	223人						
	活動実績	総合福祉センターで8回の料理講座を行い、延べ60人の参加があった。料理講座では初心者向けの簡単な料理づくりができるようになった。								
C	R7年度	活動計画	総合福祉センター及び桜井福祉センターで各4回行う予定であるが、受講者数を増やせるよう検討する。							
		活動の評価	◎	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	申込期限を待たずに定員を超えている状況で、一定のニーズがある。今後も新規の対象者が受講できるように工夫する必要がある。							
A	次年度の活動計画	今後も男性に特化した教室を継続する。栄養講話も実施し知識の普及を図る。								

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		2	家庭・地域における男女共同参画の推進				担当所属	こども課	
施策		(1)	家庭における家事・育児等の分かち合い促進						
取組		13	男性の家庭への参画に向けた学習機会の提供						
P	取組内容	男性が子育てや家事等に積極的に関わり、楽しむことができるとともに、家庭的責任を果たせるよう、各種の講座や交流の場を提供します。							
	指標	パパ講座／イクメン広場延べ参加者数(累計)				(R4実績基準)	219人	方向性	増加
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため数値なし	791人	1,163人					
	活動実績		令和7年度の実績:372人 パパ講座:3回/年(リトミックを楽しもう、離乳食のおはなし、親子で遊びトレーニング)(令和7年度実績:87人) パパ育広場:1回/月(手遊び、わらべ歌遊び、触れ合い遊び、大型絵本等)(令和7年度実績:211人) プレママプレパパ広場:16回/年(令和7年度実績:74人)						
C	R7年度	活動計画	パパ講座を年3回開催し、リトミックや離乳食のおはなし、親子で遊びトレーニングを行う。 育メン広場を月1回開催し、手遊びやわらべ歌遊び、大型絵本等を実施。 プレママプレパパ広場を年21回開催する。PRのため親子が集まる店舗等でちらしを設置し配布する。						
		活動の評価	◎	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった			(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	安城市内の各子育て支援センターや各児童センターの利用を増やすため、より一層のPRが必要である。 親子が集まる集客のある場所でプレママプレパパ広場のPRをして参加者数を増やす。						
A	次年度の活動計画		パパ講座を年3回開催し、パパとわくわく体操や離乳食のおはなし、親子で遊びトレーニングを行う。 パパ育広場を月1回開催し、手遊びやわらべ歌遊び、大型絵本等を実施。 プレママプレパパ広場を年21回開催する。PRのため親子が集まる店舗等でちらしを設置し配布する。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		2	家庭・地域における男女共同参画の推進				担当所属		健康推進課	
施策		(1)	家庭における家事・育児等の分かち合い促進							
取組		13	男性の家庭への参画に向けた学習機会の提供							
P	取組内容	妊産婦の心の変化や育児について学び、夫婦がお互いの役割をともに考えることができるよう、学習機会を提供します。								
	指標	パパママ教室べんきょう編への夫の参加率					(R4基準実績)	96%	方向性	維持・継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	94.8%	97.5%	97.7%						
	活動実績	パパママ教室べんきょう編に304人の夫の参加があった(参加家庭311組中)。母子手帳アプリ「あんぴよ」で予約ができることや、土曜日開催により夫婦で参加しやすいと思われる。また、平日開催時に妊婦体験を追加したことで、平日の参加者、夫婦での受講率が増加したと思われる。								
C	R7年度	活動計画	これまでどおり、参加しやすい土曜日も開催していく。							
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	引き続き夫婦で参加しやすい環境を整備していく必要がある。							
A	次年度の活動計画	これまでどおり、参加しやすい土曜日も開催し、平日開催時の妊婦体験も継続して実施する。								

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		2	家庭・地域における男女共同参画野推進				担当所属	生涯学習課	
施策		(1)	家庭における家事・育児等の分かち合い促進						
取組		13	男性の家庭への参画に向けた学習機会の提供						
P	取組内容	男性の家事・育児等への参画を促進するための講習会や学習機会の提供により、男女がともに学ぶことができる環境を充実します。							
	指標	男性の参画を促進するための講座実施数				(基準) R4実績	30講座	方向性	増加
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	34講座	26講座	27講座					
	活動実績	土日に参加できる講座や夜間の講座等、働き盛りの男性も参加しやすい講座を多数開講した。また、土日に親子で参加できる講座を開催し、男性が育児に参加しやすいようにした。							
C	R7年度	活動計画	男女が家庭的責任を共に担うため、男性の家事、育児、介護への参画を促進する講座を継続して実施する。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった					
		課題等	男性でも参加しやすい講座タイトルや講座内容に工夫しながら学べる機会の提供をする必要がある。						
A	次年度の活動計画		男女が家庭的責任を共に担うため、男性の家事、育児、介護への参画を促進する講座を継続して実施する。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		2	家庭・地域における男女共同参画の推進				担当所属		市民協働課		
施策		(2)	地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進								
取組		14	地域団体や組織等に対する男女共同参画に関する情報・学習機会の提供								
P	取組内容	町内会などの地域団体や組織などへ男女共同参画や女性活躍に関する啓発等を行うことで、多様な意見が反映されたコミュニティ活動の展開を促進します。									
	指標	町内会等への啓発回数					(R4基準実績)	2回	方向性	増加	
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10			
	指標実績	3回	5回	5回							
	活動実績	・男女共同参画週間イベント、月間イベント及び男女共同参画サテライトセミナーを啓発した。 ・男女共同参画情報誌を年2回配布した。									
	(参考)成果指標 町内会に占める女性の割合(令和4年:3.7%)	2.5%	2.5%								
C	R7年度	活動計画	引き続き町内会長や役員に女性が増えるよう働きかける。 イベント開催や情報誌の配布により啓発を行う。								
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった					(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	町内会の役員に女性の登用が進んでいない。								
A	次年度の活動計画	引き続き町内会長や役員に女性が増えるよう働きかける。 イベント開催や情報誌の配布により啓発を行う。									

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		2	家庭・地域における男女共同参画の推進				担当所属	危機管理課	
施策		(2)	地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進						
取組		15	ジェンダーの視点を加えた防災対策の推進						
P	取組内容	①多様な視点を反映させた備蓄品等の整備 災害時に誰もが不自由なく過ごすことができるよう、多様な視点を反映させた防災備蓄品や災害時の物資の確保を進めます。							
	指標	①整備した備蓄品の種類				(基準) R4実績	6種類	方向性	増加
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため 数値なし	6種類	8種類					
	活動実績		子ども用便座・踏台、子ども用簡易トイレ、お粥(離乳食)、液体ミルク、エアマット、乳児用コット、紙おむつ、生理用ナプキン						
C	R7年度	活動計画	検討会の内容を参考にし、備蓄品の購入を継続して行う。						
		活動の評価	◎	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった		(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった			
		課題等	今後も多様な視点を反映させた物資の確保を進める必要性がある。						
A	次年度の活動計画		検討会の内容を参考にし、備蓄品の購入を継続して行う。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		2	家庭・地域における男女共同参画の推進				担当所属	危機管理課	
施策		(2)	地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進						
取組		15	ジェンダーの視点を加えた防災対策の推進						
P	取組内容	②地域防災活動における女性の参画促進 地域における防災活動において、防災訓練等に女性が参加しやすくなるよう、研修を通じた啓発や情報提供を進めます。							
	指標	②男女共同参画の視点を取り入れた内容の防災研修の実施回数				(基準) R4実績	1回	方向性	維持・継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため 数値なし	1回	3回					
	活動実績		避難所開設訓練の中で避難所運営委員会に女性を登用し、女性視点を取り入れた研修及び訓練の実施。(事前研修2回、訓練1回)						
C	R7年度	活動計画	避難所運営訓練の中でおむつ替えや授乳のスペースを組み込む等、男女共同参画の視点を取り入れた訓練を実施する。						
		活動の評価	◎	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった			(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	町内会から選出された方で組織するため、町内会の協力が必要不可欠となること。						
A	次年度の活動計画	同様の活動を実施する。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		2	家庭・地域における男女共同参画の推進				担当所属		市民安全課		
施策		(2)	地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進								
取組		16	女性を狙う犯罪から身を守るための講座の開催								
P	取組内容	女性を狙う犯罪から身を守るための防犯教室などの講座を開催し、防犯意識の向上を図ります。									
	指標	防犯教室の参加者数(累計)					(基準) R4実績	90人	方向性	増加	
D	年度	R5	R6		R7		R8		R9		R10
	指標実績	指標変更のため数値なし	366人		507人						
	活動実績	令和7年12月17日(水)に東祥アリーナ安城にて不審者等侵入対策研修会(さすまた講習会)を開催した。 【年度実績】R4:90人、R5:125人、R6:151人 R7:141人									
C	R7年度	活動計画	令和7年12月17日(水)に東祥アリーナ安城にて不審者等侵入対策研修会(さすまた講習会)を開催する。								
		活動の評価	◎		(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	次年度以降も継続して参加者を確保し、不審者と接触した際の対処法を学ぶ機会を設けることができるようにする。								
A	次年度の活動計画		令和8年12月16日(水)に東祥アリーナ安城にて不審者等侵入対策研修会(さすまた講習会)を開催する。								

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		2	家庭・地域における男女共同参画の推進				担当所属		市民協働課			
施策		(2)	地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進									
取組		17	育児中でも学びやすい環境の整備									
P	取組内容	子どもを育てながらも学ぶ意欲を持つ市民が、安心して講座等に参加できるよう、各種講座やイベントにおいて託児を実施します。										
	指標	託児付き講座及びイベント開催回数					(基準) R4実績	3回	方向性	維持・継続		
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10				
	指標実績	4回	4回	4回								
	活動実績	①男女共同参画週間イベント ②エンパワーメント講座 ③男女共同参画月間イベント ④男女共同参画オンラインセミナー(育児中でもオンラインなら参加しやすいと解釈した)										
C	R7年度	活動計画	現地開催とオンライン開催を併用し、育児中でも学びの場に参加しやすい環境を整備する。									
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった								
		課題等	託児希望者のニーズに応えられるよう、託児世話人を確保する必要がある。									
A	次年度の活動計画		現地開催とオンライン開催を併用して、より多くの方が参加しやすい環境を整備する。									

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		2	家庭・地域における男女共同参画野推進				担当所属	生涯学習課		
施策		(2)	地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進							
取組		17	育児中でも学びやすい環境の整備							
P	取組内容	子どもを育てながらも学ぶ意欲を持つ市民が、安心して講座等に参加できるよう、各種講座やイベントにおいて託児を実施します。								
	指標	託児付き講座実施数				(基準) R4実績	27講座	方向性	維持・継続	
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	38講座	31講座	38講座						
	活動実績	公民館主催講座、乳幼児学級・家庭教育学級等で託児付き講座を実施した。開講した際の託児の希望者は非常に多く、子供を育てながらも学びたいといった女性が増えていることが伺える。								
C	R7年度	活動計画	託児が必要な月齢の子どもを育てながら自分らしく生きがいをもって生活できるような講座や託児付き講座を今後も開講していく。							
		活動の評価	◎	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	託児希望者が託児付きで講座に参加できるよう託児者の人数確保が必要である。							
A	次年度の活動計画		託児が必要な月齢の子どもを育てながら自分らしく生きがいをもって生活できるような講座や託児付き講座を今後も開講していく。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		3	多様な生き方を認め合う意識・環境づくり				担当所属	アンフォーレ課	
施策		(1)	男女共同参画に関する啓発						
取組		18	男女共同参画に関する図書の展示による啓発						
P	取組内容	図書情報館において、国の「男女共同参画週間」及び県の「男女共同参画月間」に合わせて関連図書や雑誌等を展示し、市民に対し男女共同参画の重要性を周知します。							
	指標	展示の実施回数				(基準) R4実績	2回	方向性	維持・継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	指標実績	指標変更のため 数値なし	2回	2回					
	活動実績	6月(国が定める男女参画週間)と10月(愛知県が定める男女参画月間)に展示コーナーで展示を行いました。安城市図書情報館のWEBサイト」にも掲載し、男女共同参画の重要性について広く周知を行いました。							
C	R7年度	活動計画	男女共同参画に関連する図書などの情報収集を行い、蔵書の充実と利用の促進を務めます。また国の「男女共同参画週間」及び県の「男女共同参画月間」に合わせて関連図書や雑誌等を展示を実施し、より多くの人へ男女共同参画についての周知を行います。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった					
		課題等	今後も広く周知を行うために、実施している展示のPR方法を増やす必要がある。						
A	次年度の活動計画		男女共同参画に関連する図書などの情報収集を行い、蔵書の充実と利用の促進を務めます。また国の「男女共同参画週間」及び県の「男女共同参画月間」に合わせて関連図書や雑誌等を展示を実施し、より多くの人へ男女共同参画についての周知を行います。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		3	多様な生き方を認め合う意識・環境づくり				担当所属	市民協働課	
施策		(1)	男女共同参画に関する啓発						
取組		19	男女共同参画に関する情報発信の充実						
P	取組内容	市民活動団体等との協働による情報誌の作成・発行や、市公式ウェブサイト・広報紙、SNS等への記事掲載を通じ、男女共同参画に関する情報を広く市民に発信します。							
	指標	情報誌の年間発行回数				(基準) R4実績	2回	方向性	維持・継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	2回	2回	2回					
	活動実績		年2回(9月、3月)情報誌を発行。 ジェンダー視点からのSNSと子どもの性や、女性消防団の活動をテーマにインタビュー記事を掲載した。 公共施設への配布、市公式ウェブサイトや広報紙へ掲載し、広く市民へ啓発した。 インタビュー先の消防団にも配布し、ふだん手に取ってもらう機会が少ない方への啓発につながった。						
C	R7年度	活動計画	配布方法を検討し、幅広い世代が興味をもつような男女共同参画に関する内容の情報誌を、市民団体や講座修了生と協働して発行する。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった			(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	さまざまな世代に啓発するため、世代に適した啓発方法の検討が必要である。						
A	次年度の活動計画		配布方法を検討し、幅広い世代が興味をもつような男女共同参画に関する内容の情報誌を、市民団体や講座修了生と協働して発行する。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		3	多様な生き方を認め合う意識・環境づくり				担当所属	市民協働課		
施策		(1)	男女共同参画に関する啓発							
取組		20	男女共同参画イベントの開催							
P	取組内容	男女共同参画に関するイベントを等を開催することで、男女共同参画の重要性・必要性を広く市民に周知します。また、市民活動団体等との協働により企画を行うことで、より市民の視点に沿ったイベント内容の充実を図ります。								
	指標	男女共同参画関連のイベント開催回数					(基準) R4実績	2回	方向性	維持・継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	指標変更のため 数値なし	2回	2回						
	活動実績	・週間イベント 『「家庭」と「仕事」と「自分」～私にとって大事な生き方は～』(64人) ・月間イベントシネマ上映会 「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」(381人)								
C	R7年度	活動計画	市民が男女共同参画の重要性を認識する啓発イベントを継続して実施する。							
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	より多くの人に参加してもらえよう、市民の求めるイベント内容の検討が必要である。							
A	次年度の活動計画		市民が男女共同参画の重要性を認識する啓発イベントを継続して実施する。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		3	多様な生き方を認め合う意識・環境づくり				担当所属	市民協働課		
施策		(2)	男女共同参画に関する学習機会の提供							
取組		21	市民向け講座の実施							
P	取組内容	男女共同参画に関するセミナーの開催や地域、職場、学校等への出前講座を実施し、市民が男女共同参画について理解を深める機会を提供します。								
	指標	セミナー等の実施回数				(基準) R4実績	2回	方向性	維持・継続	
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	指標変更のため 数値なし	2回	3回						
	活動実績		・男女共同参画サテライトセミナー「スマホが育てる？それとも壊す？～AI時代に生きる子どもの心～」(76人) ・ユースカレッジでの出前講座 ・さんかく21・安城勉強会での出前講座							
C	R7年度	活動計画	より多くの人に理解してもらえるように、出前講座の内容を充実させ実施する。							
		活動の評価	◎	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	男女共同参画について興味を引き、理解を深める内容の講座を検討する必要がある。							
A	次年度の活動計画	より多くの人に理解してもらえるように、出前講座の内容を充実させ実施する。								

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		3	多様な生き方を認め合う意識・環境づくり				担当所属	学校教育課	
施策		(2)	男女共同参画に関する学習機会の提供						
取組		22	学校等における男女共同参画に関する教育の実施						
P	取組内容	児童・生徒が、男女の違いを知り、互いを価値のある存在として認めることができるよう、道徳の授業や学校生活全般においての学びを充実します。							
	指標	男女共同参画の視点からの授業や活動を行った学級数					(基準) R4実績	全ての学級	方向性
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	指標実績	全ての学級	全ての学級	全ての学級					
	活動実績	保健や保健体育、道徳の授業や学校行事等を通して、男女間の違いや特性、個性を尊重する心を育み、学校生活に生かすことができるような取り組みを実践した。また、日常生活の中でも男女共同の場面を意図的に設定したり、性別による区別をなくしたりしたことで、少しずつ性差による壁はなくなってきていることを感じた。							
C	R7年度	活動計画	互いに価値ある存在として認めることができるように、発達段階を踏まえながら男女間の違いや特性、個性を尊重する心を育み、より実践的な態度を育てる。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった					
		課題等	授業や学校生活だけでなく、日常生活全般において性別による差別や区別のないようにしたり、男女共同の場を多く設定したりして、より実践的な態度を育てる必要がある。						
A	次年度の活動計画	互いに価値ある存在として認めることができるように、発達段階を踏まえながら男女間の違いや特性、個性を尊重する心を育み、より実践的な態度を育てる。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		3	多様な生き方を認め合う意識・環境づくり				担当所属	こども課	
施策		(3)	人権が尊重される社会環境づくり						
取組		23	命の大切さ等を学ぶ機会づくり						
P	取組内容	児童センターにおいて「赤ちゃん出会い・ふれあい交流会」を開催し、小中学生が乳幼児とふれあい、命の大切さを学び、人権や思いやりの意識を高める機会を提供します。							
	指標	赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業の延べ参加人数(累計)					(R4 基準 実績)	313人	方向性
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため 数値なし	1,278人	1,646人					
	活動実績	令和7年度実績:368人 (北部児童センター:31人、作野児童センター:184人、中央児童センター:46人、桜井児童センター:32人、二本木児童センター:21人、中部児童センター:20人、西部児童センター:13人、安祥児童センター:15人、明祥児童センター:6人) 児童センター9か所 (赤ちゃん講座・沐浴・育児・妊婦体験、絵本の読み聞かせ・手遊び等)							
C	R7年度	活動計画	児童センター9か所で赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験、絵本の読み聞かせ・手遊び等を実施する。また、店舗等の親子が集まる場所にちらしを置きPRに努める。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった			(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	去年度に比べて利用実績が減ってしまった。その理由として、ららぽーと安城オープンに伴い利用者が減ってしまったためである。 今後は、親子向け事業のPR方法について、今まで以上に効率的なPRの強化が必要である。						
A	次年度の活動計画		児童センター9か所で赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験、絵本の読み聞かせ・手遊び等を実施する。また、店舗等の親子が集まる場所にちらしを置き、インスタ投稿を含めPRに努める。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		3	多様な生き方を認め合う意識・環境づくり				担当所属	健康推進課	
施策		(3)	人権が尊重される社会環境づくり						
取組		24	思春期保健の推進						
P	取組内容	学校などが授業を通じて行う学童期・思春期の発達段階に応じた保健教育を支援し、児童・生徒が命の大切さ等を理解する機会の充実を図ります。							
	指標	講師派遣件数				(基準) R4実績	28件	方向性	継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため 数値なし	42件	44件					
	活動実績		小中学校、高校に講師派遣を44回行った。中学生への外部講師による性教育は定着して実施できるようになっている。また、高校生への教育内容を新たに作成し、1件実施した。						
C	R7年度	活動計画	養護教諭等が思春期保健に関する授業を実施する機会等に活用していただけるよう、学校のニーズにあった教育内容を検討していく。						
		活動の評価	◎	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった					
		課題等	中学生への外部講師による性教育の内容が増加しており、時間内に終わらせることが難しい。定着して実施している年代以外の教育の実施件数が少ない。						
A	次年度の活動計画	中学生への外部講師による性教育の内容を二回に分け、別学年で実施できるようにする。高校生への健康教育の件数が増加するように周知していく。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		3	多様な生き方を認め合う意識・環境づくり				担当所属		健康推進課		
施策		(3)	人権が尊重される社会環境づくり								
取組		25	男女の健康づくり支援								
P	取組内容	男女の身体的な構造の違いや、心身の状況が年代に応じて大きく変化する女性の特性について理解を促進し、生涯を通じた健康づくりを支援します。									
	指標	①子宮頸がん検診の受診率 ②乳がん検診の受診率					(R4基準実績)	①20.1% ②21.3%		方向性	増加
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10			
	指標実績	指標変更のため 数値なし	①19.1%	①18.6%							
			②20.3%	②19.5%							
	活動実績		国保加入者と社会保険で前年度がん検診受診歴がある方には、年度当初にがん検診の受診券を送付。特定の年代に対し、がん検診勧奨はがきを個人通知。 ①離乳食講習会の場で子宮頸がん検診の必要性を周知し、希望者にはがん検診受診券を発行。 ②「ブレスト・アウェアネス」のチラシを乳幼児健診会場に設置、デンタルケア教室での配布、ヤング健診受診者（女性）に対し結果の見方とともにチラシの配布した。イベントにて自己触診法モデルを市民に触ってもらい啓発に努めた。								
C	R7年度	活動計画	若い世代が集まる場を利用し、啓発や周知を行う。また、乳がんの自己検診法のモデルを使うなど、周知方法を検討していく。がん検診受診券が申し込まなくても手元に届くような、受診しやすさに結びつく方法を考える。								
		活動の評価	① △ ② △	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった							
		課題等	がん検診に関心がない層や育児中の母親たちへ、市のがん検診制度について広く知ってもらう必要がある								
A	次年度の活動計画	若い世代が集まる場を利用し、啓発や周知を行う。									

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		3	多様な生き方を認め合う意識・環境づくり				担当所属	学校教育課	
施策		(3)	人権が尊重される社会環境づくり						
取組		26	LGBT等、多様な性に関する理解促進						
P	取組内容	教職員に対し、パンフレットによる啓発を行います。							
	指標	パンフレットによる啓発回数				(基準) R4実績	1回	方向性	維持・継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため 数値なし	2回	2回					
	活動実績	市内小中学校教職員向けに、「安城市いのちの教育サポートプラン」の一つとして、児童生徒や教職員のLGBTQへの理解をすすめるために、資料や指導案などを紹介し、自由に活用できるようにした。							
C	R7年度	活動計画	実践的な態度を育てるために、計画的にパンフレット等による啓発を行ったり、研修会への積極的な参加を働きかけたりするなど、多様な性に関する理解を深めるための啓発を継続的に行う。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった					
		課題等	啓発が単発になってしまい、継続的な働きかけができなかった。各校に定期的に研修の案内をしたり、学校の声을聞いたりするなど、多様な性を理解するための啓発活動を計画的・継続的に進め、実践的な態度を育てる必要がある。						
A	次年度の活動計画		実践的な態度を育てるために、計画的にパンフレット等による啓発を行ったり、研修会への積極的な参加を働きかけたりするなど、多様な性に関する理解を深めるための啓発を継続的に行う。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		3	多様な生き方を認め合う意識・環境づくり				担当所属	市民協働課	
施策		(3)	人権が尊重される社会環境づくり						
取組		26	LGBT等、多様な性に関する理解促進						
P	取組内容	性的マイノリティに対する理解を深めるための啓発を行い、市民が多様な性のあり方を理解し、多様性を認め合えるような環境づくりを促進します。							
	指標	市民向け啓発回数				(基準) R4実績	6回	方向性	維持・継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	6回	7回	7回					
	活動実績	・エンパワーメント講座の受講生に啓発 ・3歳児の保護者にLGBTのリーフレットを配布 ・中学1～3年生にLGBTに関する内容を含むリーフレットを配布 ・市公式ウェブサイトに掲載 ・アンフォーレのブラウジングコーナーでの展示(6月、10月) ・名古屋レインボープライドへのブース出展とコメント掲載							
C	R7年度	活動計画	講座等で多様な性に対する理解を深める啓発を実施する。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった			(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	さまざまな年代の人が自分事と捉え多様性を認め合えるよう、理解促進を図る必要がある。						
A	次年度の活動計画	引き続き講座等で多様な性に対する理解を深める啓発を実施する。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		3	多様な生き方を認め合う意識・環境づくり				担当所属	市民協働課	
施策		(3)	人権が尊重される社会環境づくり						
取組		27	市職員等への男女共同参画研修の実施						
P	取組内容	多様性を認め合う視点を踏まえて業務遂行ができるよう、市職員・教職員への研修を実施します。							
	指標	LGBT等に関する市職員向け研修参加者数(累計)				(R4実績基準)	658人	方向性	増加
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため数値なし	1,019人	1237人					
	活動実績		・新規採用職員に研修を実施(72人参加) ・市職員・教職員向けLGBT研修を実施(84人参加) ・市職員向けDV研修を実施(62人参加)						
C	R7年度	活動計画	DV及びLGBTの理解をすすめるため、職員及び教職員、新規採用職員に研修を実施する。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった			(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	さらに多くの職員に参加してもらえるよう、参加を促す必要がある。						
A	次年度の活動計画		引き続きDV及びLGBTの理解をすすめるため、職員及び教職員、新規採用職員に研修を実施する。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		3	多様な生き方を認め合う意識・環境づくり				担当所属	市民協働課		
施策		(3)	人権が尊重される社会環境づくり							
取組		28	パートナーシップ・ファミリーシップ制度の制定及び運用							
P	取組内容	性的マイノリティの方の生きづらさを緩和し、多様な生き方を認める機運を醸成するため、パートナーシップ・ファミリーシップ制度を制定するとともに、広く市民に対して周知を進めます。								
	指標	市民向け啓発回数					(基準) R4実績	—	方向性	実施・継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	新規のため数値なし	6回	3回						
	活動実績	・広報あんじょう10月号に制度と県内連携協定の説明記事を掲載 ・男女共同参画週間イベントで啓発チラシを配布 ・市公式ウェブサイトに掲載								
C	R7年度	活動計画	各種イベントでのチラシ配布や広報あんじょうに記事を掲載し啓発する。							
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	制度について、より多くの市民への周知と理解促進を図る必要がある。また、より多くの啓発方法を検討していく必要がある。							
A	次年度の活動計画		引き続き各種イベントでのチラシ配布や広報あんじょうへの記事掲載により啓発する。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保				担当所属		市民協働課			
施策		(1)	DV防止に関する啓発									
取組		29	DV防止に向けた情報提供・啓発の実施									
P	取組内容	DVの認識を深めるとともに、被害の未然防止を図るため、どのようなことがDVにあたるかや、被害に遭った場合の相談窓口等に関する情報をパンフレット等の配布を通じて広く周知・啓発します。										
	指標	DV防止の市民向け啓発回数					(基準) R4実績	6回	方向性	維持・継続		
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10				
	指標実績	7回	7回	7回								
	活動実績	・エンパワーメント講座でDV等の内容の男女共同参画パンフレットを配布 ・公共施設のトイレ等にDVミニパンフ及び男性相談窓口カード(県より配布)を設置 ・市公式ウェブサイトにはDV防止の記事と相談窓口を掲載 ・広報あんじょうに掲載(4月、11月) ・庁舎デジタルサイネージに掲載(4月、11月)										
C	R7年度	活動計画	DV相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVに関する知識の普及を進める。									
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった								
		課題等	多くの人の目に留まるよう、パンフレット等の配布場所や配布方法を検討する必要がある。									
A	次年度の活動計画		引き続きDV相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVに関する知識の普及を進める。									

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保				担当所属	市民協働課		
施策		(1)	DV防止に関する啓発							
取組		30	生徒に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施							
P	取組内容	デートDVに関するリーフレット等を学校を通じて生徒に配布し、若い世代にデートDVの知識の普及を進めるとともに未然防止を図ります。								
	指標	中学3年生向けリーフレット等の配布数					(基準) R4実績	市内中学3年生の生徒数	方向性	維持・継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	市内中学3年生の生徒数	市内中学3年生の生徒数	市内全中学生の生徒数						
	活動実績	「ありのままのわたし、大切なあなた」のリーフレットに、デートDV等の記事を掲載し、市内全中学生(5,502人)に配布した。 R6年度までは中学3年生を対象に配布していたが、対象学年を1年生に引き下げるため、R7年度のみ全学年に配布した。								
C	R7年度	活動計画	現状に合った内容のリーフレットを検討し、配布する対象を中学1年生に引き下げるとともに、授業で取り上げてもらえるよう働きかける。							
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	どのような内容を掲載すると良いか検討する必要がある。							
A	次年度の活動計画		現状に合った内容のリーフレットを検討し、中学1年生に配布するとともに、授業で取り上げてもらえるよう働きかける。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保				担当所属	社会福祉課	
施策		(2)	DV被害に対する早期対応・支援						
取組		31	DVに関する適切な相談の実施						
P	取組内容	被害者が安心して相談できるDV相談を実施するとともに相談窓口に関する情報発信を行い、被害者を早期に必要な支援につなげることができる環境を整備します。							
	指標	DV相談件数				(基準) R4実績	11件	方向性	継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため 数値なし	4件	10件					
	活動実績		相談者との面談は窓口カウンターでなく、仕切りのある相談コーナーで行った。						
C	R7年度	活動計画	相談者のプライバシー確保と迅速な対応を行う。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった		(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった			
		課題等	相談者のプライバシー確保。						
A	次年度の活動計画		相談者のプライバシー確保と迅速な対応を行う。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保				担当所属		障害福祉課			
施策		(2)	DV被害に対する早期対応・支援									
取組		31	DVに関する適切な相談の実施									
P	取組内容	被害者が安心して相談できるDV相談を実施するとともに相談窓口に関する情報発信を行い、被害者を早期に必要な支援につなげることができる環境を整備します。										
	指標	障害のある方のDV相談件数					(基準) R4実績	10件		方向性	継続	
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10				
	指標実績	指標変更のため 数値なし	5件	7件								
	活動実績	被害者や警察からの聞き取り調査で事実確認を行った。また、障害者虐待防止のため、必要に応じ障害者及びその養護者に対し障害福祉サービスの利用案内や見守り支援を行った。										
C	R7年度	活動計画	相談者の障害の特性にあわせて適切な配慮をしつつ、必要に応じて関係機関への情報提供や取り次ぎを行う。									
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった								
		課題等	相談内容が多岐に渡るため、専門性の高い対応が常に求められる。個別のケースに対し臨機応変かつ速やかに対応する必要がある。									
A	次年度の活動計画		引き続き相談者の障害の特性にあわせて適切な配慮をしつつ、必要に応じて関係機関への情報提供や取り次ぎを行う。									

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保				担当所属	高齢福祉課	
施策		(2)	DV被害に対する早期対応・支援						
取組		31	DVに関する適切な相談の実施						
P	取組内容	被害者が安心して相談できるDV相談を実施するとともに相談窓口に関する情報発信を行い、被害者を早期に必要な支援につなげることができる環境を整備します。							
	指標	高齢者(65歳以上)のDV相談件数				(基準) R4実績	1件	方向性	継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため 数値なし	2件	2件					
	活動実績	相談に応じ、必要な支援につなげることができた。							
C	R7年度	活動計画	DV相談を含めた相談窓口の周知を図り、必要な支援につなげる。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった			(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	今後も、関係機関に連携を取り、必要な支援につなげる必要がある。						
A	次年度の活動計画		DV相談を含めた相談窓口の周知を図り、必要な支援につなげる。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保				担当所属	こども課		
施策		(2)	DV被害に対する早期対応・支援							
取組		31	DVに関する適切な相談の実施							
P	取組内容	被害者が安心して相談できるDV相談を実施するとともに相談窓口に関する情報発信を行い、被害者を早期に必要な支援につなげることができる環境を整備します。								
	指標	子育て家庭におけるDV相談件数				(基準) R4実績	15件	方向性	継続	
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	17件	9件	13件						
	活動実績	こども家庭センターとしてDV被害の相談に適切に対応し、必要に応じて一時保護等の支援につなぐことができた。								
C	R7年度	活動計画	DV対策庁内連絡会などを通じて、相談事例や対応方法について情報共有し、関係機関・関係課との連携強化を図る。							
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	速やかに適切かつ必要な支援につなげるため、関係機関及び関係課と情報共有するなど連携を深める必要がある。							
A	次年度の活動計画		DV対策庁内連絡会などを通じて、相談事例や対応方法について情報共有し、関係機関・関係課との連携強化を図る。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保				担当所属	市民協働課		
施策		(2)	DV被害に対する早期対応・支援							
取組		32	DV被害への連携した支援							
P	取組内容	DVIに関する相談対応において、庁内関係各課で連携して迅速に対応できる体制を整備します。								
	指標	庁内会議の開催回数				(基準) R4実績	1回	方向性	維持・継続	
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	指標変更のため 数値なし	1回	1回						
	活動実績	庁内会議を開催し、市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、こども課、市民協働課でDV相談対応について情報共有した。								
C	R7年度	活動計画	DV庁内会議で被害者対応の情報を共有し、相談体制の充実を図る。							
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	DV被害者に寄り添う相談体制の整備が必要。							
A	次年度の活動計画		引き続きDV庁内会議で被害者対応の情報を共有し、相談体制の充実を図る。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保				担当所属	社会福祉課	
施策		(2)	DV被害に対する早期対応・支援						
取組		33	被害者の一時保護の実施						
P	取組内容	相談者の状況を踏まえて愛知県女性相談支援センターとの連携を強化し、必要に応じて一時保護へとつなげます。							
	指標	愛知県女性相談支援センターへ一時保護を依頼した件数				(基準) R4実績	0件	方向性	継続
D	年度指標実績	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
		指標変更のため 数値なし	0件	0件					
	活動実績	愛知県女性相談支援センターと連絡を取り、一時保護の対応が取れるかを確認した。							
C	R7年度	活動計画	愛知県女性相談支援センターや民間のシェルターと連携を取り、相談者の安全第一で適切な一時保護を行う。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった					
		課題等	相談者の要望を100パーセント叶える一時保護施設の選択肢がない場合が多い。						
A	次年度の活動計画		相談者の安全第一で適切な一時保護を行う。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保				担当所属	こども課		
施策		(2)	DV被害に対する早期対応・支援							
取組		33	被害者の一時保護の実施							
P	取組内容	一時保護の実施及び必要に応じた施設措置等自立支援を行い、DV被害者の安全を確保します。								
	指標	愛知県女性相談支援センターへ一時保護を依頼した件数				(基準) R4実績	3件	方向性	継続	
D	年度指標実績	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
		3件	1件	2件						
	活動実績	必要に応じて愛知県女性相談センターへ一時保護を依頼し、DV被害者の安全を確保した。								
C	R7年度	活動計画	職員が適切に一時保護、母子生活支援施設への入所など支援できるスキル維持のため、各種会議等に参加し、他機関との連携を図っていく。							
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	適切に一時保護、母子生活支援施設への入所などの支援ができるよう、職員のスキルを高める必要がある。							
A	次年度の活動計画		DV被害の相談に対し、適切な支援につなぐことができるよう、職員は各種研修等に参加し知識を深める。また、女性相談支援センター等の関係機関と連携を図っていく。							

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保				担当所属	市民協働課		
施策		(3)	安全・安心を支える体制づくり							
取組		34	困難を抱える女性に関する支援							
P	取組内容	困難な課題を抱える女性を早期に適切な支援につなげられるよう、県等と連携して包括的・継続的に支援できる体制をつくり支援窓口の周知を図ります。								
	指標	支援窓口の周知				(基準) R4実績	—	方向性	実施・継続	
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10		
	指標実績	指標変更のため 数値なし	実施	実施						
	活動実績		・「あいち女性の悩みごと相談窓口ナビ」と、女性支援特設サイト「あなたのミカタ」に庁内担当部署の相談窓口の情報を掲載 ・公共施設のトイレ等に相談窓口のミニパンフを設置							
C	R7年度	活動計画	担当部署と情報を共有し、相談者に寄り添う相談体制の充実を図る。							
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった						
		課題等	体制を充実させ、相談窓口の情報が多くの人の目に留まるよう、周知方法を検討する必要がある。							
A	次年度の活動計画	担当部署と情報を共有し、相談者に寄り添う相談体制の充実を図る。								

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保					担当所属	市民安全課		
施策		(3)	安全・安心を支える体制づくり								
取組		34	困難を抱える女性に関する支援								
P	取組内容	悩みを抱える女性が安心して相談できるよう、市役所相談室において女性相談員による相談窓口を定期的に開設します。									
	指標	女性相談件数					(R4基準実績)	117件		方向性	継続
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10			
	指標実績	91件	112件	122件							
	活動実績		困難を抱える女性に関する支援として、女性相談員による女性相談を毎週水曜日、午前10時から午後4時までの間開設し(1日最大5名)、面談又は電話による相談業務を実施した。 令和7年度は、50回開設し、延べ122名の悩みを抱える女性からの相談を受けた。 (面談102件 ・ 電話20件)								
C	R7年度	活動計画	相談窓口の周知を広報、ウェブサイト、紙資料配布により実施する。 市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施する。 女性相談員による女性相談を50回開設する。								
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった							
		課題等	オンライン相談の導入準備を進め速やかに対応できる体制を整える必要がある。								
A	次年度の活動計画		相談窓口の周知を広報、ウェブサイト、紙資料配布により実施する。 市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施する。 女性相談員による女性相談を49回開設する。 オンライン相談を開始する。								

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保					担当所属	社会福祉協議会			
施策		(3)	安全・安心を支える体制づくり									
取組		34	困難を抱える女性に関する支援									
P	取組内容	市民の誰もが安心して相談ができる身近な場として「心配ごと相談」を実施します。										
	指標	心配ごと相談の女性相談延べ件数					(R4実績 基準)	87件	方向性	継続		
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10				
	指標実績	指標変更のため 数値なし	171件	95件								
	活動実績		予約不要で週5日(火曜日～土曜日)開催し、いつでも相談を受けられる体制をとっている。 相談者の心配ごとによって、傾聴や情報提供、関係機関への連絡紹介など、適切な対応に努めている。 また、相談員を対象に、傾聴技術や障がいのある方への対応方法などの研修を行い、資質向上を図っている。									
C	R7年度	活動計画	各地域の民生委員・児童委員に相談員を依頼する。相談の受け止め方や傾聴の必要性などについて相談員研修を開催する。つなぎ先リストも常に最新となるよう定期的な確認を行う。広報紙等で本事業の啓発、PRを行う。									
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった								
		課題等	相談員である民生委員・児童委員から、相談件数に対し相談所開所日数が適切か検討すべきとの意見をいただいた。									
A	次年度の活動計画		上記課題について検討した結果、令和8年度からの相談所開所日を週5日(火～土曜日)1:30～4:00から週3日(火・木・土曜日)1:30～3:30に変更し、民生委員・児童委員として地域での活動(相談件数)をカウントすることとする。 また、相談員を対象に、傾聴技術向上などの研修を実施する予定である。									

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保				担当所属	市民協働課	
施策		(3)	安全・安心を支える体制づくり						
取組		35	二次被害の防止に向けた対応の強化						
P	取組内容	相談にあたる職員が正しい認識・理解を持って被害者への対応にあたるよう、市職員への研修を実施します。							
	指標	市職員向けDV研修参加者数(累計)				(R4実績基準)	272人	方向性	増加
D	年度	R5	R6	R7	R8	R9		R10	
	指標実績	指標変更のため数値なし	374人	436人					
	活動実績		市職員向けDV研修を実施(62人参加) 講師:増井 さとみ氏(ウイメンズカウンセリング名古屋YWCA)						
C	R7年度	活動計画	職員へDVについての研修を実施しDVに対する認識を深め、二次被害を起こさないようDV被害者への対応方法等を周知する。						
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった			(指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった		
		課題等	DVについての理解をさらに促し、被害者が市役所へ来た時に、どの課の窓口でも正しい対応ができるように今後も研修が必要である。						
A	次年度の活動計画		引き続き職員へDVについての研修を実施しDVに対する認識を深め、二次被害を起こさないようDV被害者への対応方法等を周知する。						

第5次男女共同参画プラン 施策状況調査シート(令和7年度)

基本目標		4	あらゆる暴力の根絶と安全・安心な環境の確保				担当所属		市民課			
施策		(3)	安全・安心を支える体制づくり									
取組		35	二次被害の防止に向けた対応の強化									
P	取組内容	市民協働課が主催するDV研修会の中で支援措置に関する説明会を開催し、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図ります。										
	指標	支援措置に関する説明会の実施回数					(基準) R4実績	1回	方向性	維持・継続		
D	年度指標実績	R5	R6	R7	R8	R9		R10				
		1回	1回	1回								
	活動実績	令和7年11月18日に開催されたDV職員研修会で、市民課職員による支援措置に関する説明会を行った。										
C	R7年度	活動計画	市民協働課と連携し、支援措置の周知を図る。									
		活動の評価	○	(指標が数値の場合) ◎ より増加した・より多く実施した ○ 増加した・実施した △ 増加しなかった × 実施しなかった (指標が数値以外の場合) ○ 実施した × 実施しなかった								
		課題等	今後も深刻、複雑化する支援措置業務に向け詳細で且つわかりやすい説明会を行う必要がある。									
A	次年度の活動計画		本年度と同様に開催し、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図ります。									